

広報

にっこう

平成19年度
予算特集号



平成19年度に市が行う主な事業をお知らせします。



日光市長 斎藤文夫

日光市が誕生してから、早いもので1年が過ぎました。

あらためて、「日光市は豊かな自然、歴史を語る文化や産業、良質な温泉といった、多様で、世界に誇るべき地域資源に恵まれたまち」と実感しています。しかし、その一方で、少子高齢化の進行や人口の減少、地域経済活動の低迷、厳しい財政状況といった課題にも直面しています。

日光市の持つ可能性を伸ばし、これらの課題を解決するためには、まちづくりの方向性をしっかりと描き、メリハリの効いたまちづくりを進めていかなければなりません。また、安定した行財政基盤を確立させることも必要です。そのため、今年度の予算編成に当たりましては、既存の歳出の徹底的な見直しに取り組み、新市建設計画に位置づけた施策に、重点的に財源を配分しました。

この予算特集号は今年度に取り組む主な施策をまとめたものです。日光市の現状をご理解いただき、新生「日光市」の創造にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆目次

平成19年度予算のあらまし……………1

第1章 豊かなところと文化を育む

- ◆学校教育の充実……………2
- ◆青少年の健全育成……………3
- ◆人権の尊重……………4
- ◆生涯学習の充実……………4
- ◆文化・スポーツの振興……………5
- ◆歴史的・文化的遺産の継承保存・活用……………7
- ◆国際交流の推進……………7

第2章 健やかでひとにやさしい社会をつくる

- ◆地域福祉の充実……………8
- ◆子育て支援の充実……………8
- ◆高齢者福祉の充実……………9
- ◆障がい者福祉の充実……………11
- ◆健康づくりの推進……………12
- ◆医療・救急体制の充実……………13

第3章 魅力と活力にあふれた産業を伸ばす

- ◆地域経済の活性化……………16
- ◆観光の振興……………17
- ◆農林業の振興……………18
- ◆商工業の振興……………20

◆勤労者福祉の拡大……………21

第4章 快適で安全な生活環境をつくる

- ◆総合的・計画的な土地利用の推進……………22
- ◆地域の個性を生かした景観の整備保全……………22
- ◆道路・交通網の整備……………23
- ◆上・下水道の整備……………24
- ◆住環境の整備……………25
- ◆消防・防災・防犯・交通安全体制の整備……………26
- ◆消費生活の向上……………28
- ◆地域情報化の推進……………28
- ◆湯西川ダム建設に伴う水源地域の
生活環境、産業基盤等の整備及び支援……………28

第5章 かけがえのない自然環境を守る

- ◆自然環境の保全……………30
- ◆循環型社会の構築……………30

第6章 市民と行政の協働のまちをつくる

- ◆市民との協働によるまちづくりの推進……………32
- ◆男女共同参画の推進……………33
- ◆行財政改革の推進……………33

財政状況Q&A……………34

平成 19 年度予算のあらまし

予算編成の基本的な考え方

市税は、所得税から市民税に税源が移譲されたことなどから増加します。一方、地方譲与税や地方交付税などは減少が見込まれ、全体として歳入に多くは期待できない状況にあります。

そうした中であっても、新市建設計画に位置付けた施策の着実な実施が必要です。そのため、人件費の縮減や補助金の見直し、経常経費の圧縮など、既存の歳出の徹底的な見直しを行いました。また、地域福祉の推進や生活基盤の整備などの重点項目を定め、限りある財源を効果的、効率的に活用するという視点から予算編成を行いました。

会 計 別 予 算 額

(単位：万円)

会 計 名	平成19年度 当初予算額	平成18年度 当初予算額	増 減	前年度当初 予算比 (%)
一 般 会 計	4,003,000	3,943,000	60,000	1.5
特 別 会 計	2,881,638	2,754,117	127,521	4.6
国民健康保険事業	1,055,523	933,470	122,053	13.1
老人保健事業	947,930	961,457	△13,527	△1.4
介護保険事業	485,363	442,832	42,531	9.6
診療所事業	12,416	13,328	△912	△6.8
自家用有償バス事業	13,175	13,199	△24	△0.2
公設地方卸売市場事業	3,166	2,474	692	27.9
温泉事業	8,353	8,428	△75	△0.9
銅山観光事業	8,347	8,213	134	1.6
下水道事業	345,828	369,156	△23,328	△6.3
公共用地先行取得事業	1,537	1,560	△23	△1.5
企業会計	390,230	451,451	△61,221	△13.6
水道事業	379,357	441,794	△62,437	△14.1
リフト事業	10,873	9,657	1,216	12.6
合 計	7,274,868	7,148,568	126,300	1.8

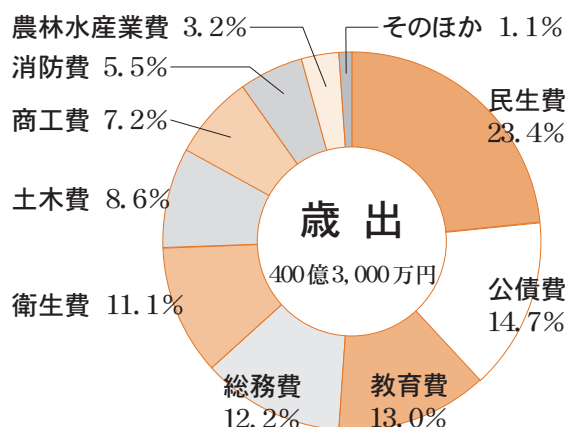
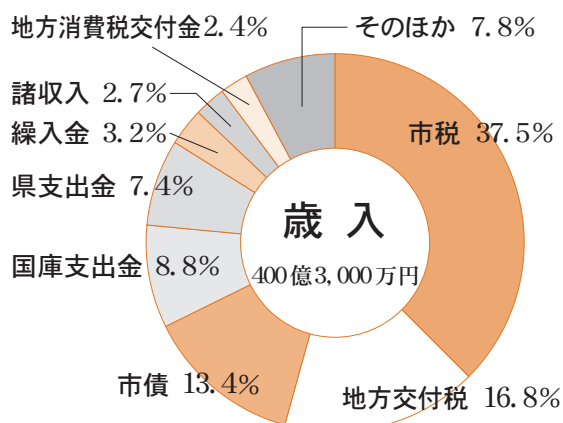
平成19年度の予算は、3月22日に市議会定例会で承認されました。

一般会計の予算規模は400億3,000万円で前年度に比べ1.5%の増加です。

国民健康保険や下水道などの特別会計は288億1,638万円で4.6%の増加です。

水道事業、リフト事業の企業会計は39億230万円で13.6%の減少です。

一 般 会 計 予 算 の 内 訳



第1章 豊かなこころと文化を育む

小中一貫教育実施予定校

- 今市地域(小林中学校区、落合中学校区)
- 日光地域(小来川中学校区)
- 栗山地域(湯西川中学校区)
- ※小中一貫教育対応臨時指導助手 4人

主な教育関係団体などへの補助金

- 広島平和記念式典派遣事業費補助金
@ 80,000×25人 = 2,000,000円
- なんとなくのにわ運営費補助金 800,000円
- ※なんとなくのにわ…NPO法人が運営する、不登校や発達障がいのある児童・生徒などが思い思いに過ごすことのできる場所



中学校各種大会参加補助金

全日本中学生ホッケー選手権大会。日光市ではフィールドホッケーが子どもから大人まで熱心に取り組まれ、その水準は全国レベルに達しています。

◆学校教育の充実

1. 小中一貫教育推進事業費

1,086万円

学校教育課

旧今市市が認定を受けた教育特区(英語の小中一貫教育)を日光市全体に拡大します。モデル校として小中一貫教育を行う小・中学校に教員免許を持つ臨時指導助手を派遣し、英語教育の強化を図ります。

2. 特別支援教育推進事業費

387万円

学校教育課

専門的資格(臨床心理士)を有する「相談員」が、発達相談を行います。また、障がいのある児童・生徒を臨床観察するなどして、教職員や保護者に指導や助言を行い、当該児童・生徒がより良い学校生活を送れる環境づくりを行います。

3. 教育関係団体等補助金

403万円

学校教育課

教育関係団体に補助金を交付し、団体の自主的な教育活動を支援します。

4. 中学校各種大会参加補助金

456万円

学校教育課

中学校の部活動で関東大会以上に出場する際、参加費を補助します。また、全日本中学生ホッケー選手権大会と全日本中学生アイスホッケー選手権大会の参加費を補助します。

5. 学校教育支援事業費

9,358万円

学校教育課

学習障がいや情緒障がいなど、特別な配慮を要する児童・生徒のいる学校に教員免許を持つ臨時指導助手を派遣し、円滑な教育活動の確保を図ります。また、習熟度別学習や複式学級指導も行います。

6. 教育相談事業費

853万円

学校教育課

地域や学校に教育相談員や心の教室相談員、スクールカウンセラーを配置します。児童・生徒や教師、保護者のさまざまな相談に応じて問題解決を図ります(教育相談員2人、心の教室

相談員9人、スクールカウンセラー5人)。

7. 適応指導教室費

522万円

学校教育課

適応指導教室では、不登校の児童・生徒の自立を促し、学校生活に適應するよう指導・助言を行います(指導員2人、スクーリング・サポート・ネットワーク3人)。

8. ブラスバンド活動費補助金

240万円

学校教育課

小・中学校の吹奏楽部が、東関東吹奏楽コンクールや東関東アンサンブルコンテストなど、関東大会以上の大会に出場する費用を補助します。

9. 臨海自然教室活動費

486万円

学校教育課ほか

主に小学5年生を対象に、県施設「とちぎ海浜自然の家」に2泊3日の日程で宿泊し、海に親しみ、自然体験や体力づくり、集団生活を体験します(日光地域、藤原地域の一部小規模校は4、5年生を対象に隔年。栗山地域は全小学校の5年生を対象に合同で実施)。

10. 足尾小学校建設事業費

6億3,394万円

足尾教育行政事務所

足尾小学校は耐震診断の結果、危険校舎の判定を受けていました。児童が安心して学校生活が送れるよう、平成18・19年度で建て替えを実施しています。

11. 市内小中学校耐震診断及び改修事業費

6,980万円

学校教育課

災害発生時には地域住民の避難場所にもなる学校施設について、簡易一時診断の結果を受けて、順次二次診断を行い、平成27年度までに耐震補強工事を完了します。

◆青少年の健全育成

1. 青少年教育事業費

313万円

生涯学習課ほか

将来の日光市を担う青少年を心身ともに健やかに育成するために、さまざまな事業を行います。今年度は、非行防止啓発講演会や児童生徒文化関係事業の開催、PTAや子ども会などへの支援を行います。



ブラスバンド活動費補助金

昨年9月に茨城県で行われた東関東吹奏楽コンクールに、栃木県代表として参加した今市第三小学校の演奏。



足尾小学校建設事業

現在建築中で、今年度完成予定です。

耐震診断、補強設計実施校

- 今市小学校
- …二次診断、校舎・屋内運動場耐震補強設計
- 日光小学校
- …二次診断、校舎耐震補強設計
- 藤原中学校
- …二次診断、校舎・屋内運動場耐震補強設計



人権教育推進

昨年12月に藤原公民館で開かれた「親子で盲導犬体験教室」のひとこま。



(仮)大沢地区センターの完成予想図

- 整備概要 敷地面積 18,719.77㎡
- 支所公民館棟(1,181.28㎡)
鉄筋コンクリート造、地上1階建
 - 体育館棟(3,008.17㎡)
鉄筋コンクリート造
地上1階・地下1階建

2. 少年指導センター運営費

410 万円

生涯学習課ほか

少年の相談業務や指導活動を積極的に推進し、少年の健全育成に努めます。主な活動は、少年相談員による相談業務、少年指導委員による巡回街頭指導です。

◆人権の尊重

1. 人権対策推進事業費

333 万円

人権福祉課

人権に関する講演会などの啓発事業を実施します。また、人権尊重の理念を深め、これを体得するための指針として、「日光市人権教育・人権啓発推進総合計画」を作成します。

2. 人権教育推進費

71 万円

生涯学習課

乳幼児期、少年期、成人期、高齢期の生涯各期における人権教育・啓発を推進します。

主な事業は、盲導犬体験教室や人権尊重啓発ポスターの募集、人権尊重啓発リーフレットの作成、人権教育推進講演会の開催などです。

3. 成年後見制度利用支援事業費

82 万円

厚生福祉課

認知症の方や精神上の障がいがある方など、判断能力が不十分な方を保護し、支援する制度です。この制度を利用するにあたり、市長申立費や費用負担が経済的に困難な方へ必要経費を助成します。

◆生涯学習の充実

1. (仮)大沢地区センター整備事業費

7 億 2,028 万円

中央公民館

大沢支所・公民館の利便性を図るため移転するとともに、スポーツ振興の向上を目指し、体育館も併せた複合施設を整備します。平成19・20年度の2か年事業です。

2. 湯西川公民館整備事業費

2,000 万円

湯西川公民館

湯西川ダム水源地域整備事業により、水源地域の円滑な社会生活推進と地域文化の向上を図るため、湯西川公民館を整備します。今年度は建設にかかる設計を予定しています。

3. 生涯学習推進事業開催費

363 万円

生涯学習課ほか

人づくりからまちづくりまで、生涯学習を幅広く支援します。

4. ブックスタート事業費

87 万円

図書館

親子がゆっくり、楽しく、心触れ合うひとときを過ごすきっかけづくりを目的として、8か月児健診の際に絵本を手渡します。

5. 展示開催費

218 万円

歴史民俗資料館

今年度は、7回の企画展を開催します。

①日光領の年貢 ②昔の玩具(おもちゃ)展 ③世界の昆虫 ④四季の花々 ⑤キノコ展～食べられるキノコ、毒キノコ～ ⑥花の写真展 ⑦くらしと民具

6. 生涯学習推進啓発費

137 万円

生涯学習課

生涯学習情報紙「にこにこ」を発行し、学習情報の提供と、皆さんが生涯学習で学んだ成果をまちづくりに生かしている様子をお知らせします。

7. 放課後子ども教室推進事業費

181 万円

生涯学習課

子どもの放課後や休日に、さまざまな学習や体験の機会を提供します。また、地域ボランティアの方々から協力を得て、交流活動などに取り組みながら、地域教育力の活性化を図ります。

◆文化・スポーツの振興

1. (仮)西川運動場整備事業費

9,900 万円

スポーツ振興課

栗山地域にお住まいの皆さんが豊かな生活を送り、健康増進を図るためのスポーツ交流の場として、運動場を整備するための土地購入費用などです。湯西川ダム水源地域整備事業として整備します。

2. 文化振興事業費

1,762 万円

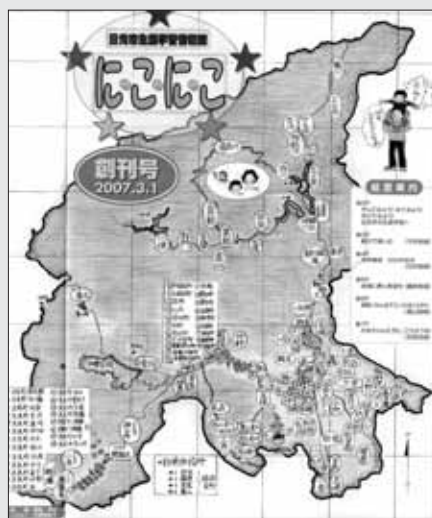
生涯学習課ほか

日本の古典芸術に親しむ芸術鑑賞教室を開催するほか、文化・芸術活動を支援します。



ブックスタート事業

「絵本を開くことで、赤ちゃんゆっくり触れ合うひとときを持てるように」というメッセージを伝えながら絵本を手渡します。



生涯学習の推進啓発

生涯学習情報紙「にこにこ」の創刊号。今後、皆さんの生涯学習への取り組みを紹介していきます。



日光杉並木マラソン大会

昨年8月6日(日)に開催された第1回大会には、全国から多くのランナーが集まり、2,275人が完走しました。



小杉放菴記念日光美術館

美術館では美術作品などの収集を行うほか、展覧会や作品修復、エントランスホールを活用した文化イベントなどを行っています。



全日本女子中高生アイスホッケー大会

昨年12月に日光霧降アイスアリーナや細尾ドームリンクで開催。今後も日光で開催し、女子アイスホッケーの聖地として取り組んでいきます。

3. スポーツ・レクリエーション普及促進事業費 209 万円

スポーツ振興課

誰もが手軽にできるニュースポーツを普及させるため、大会や指導者の講習会を開催し、生涯スポーツを推進します。

4. 体育協会等補助金

1,777 万円

スポーツ振興課

スポーツ振興を推進するため、アマチュアスポーツの統一組織である市体育協会に対して、補助金を交付します。また、市のスポーツイベントとして開催する日光杉並木マラソン大会などの開催費を一部補助します。

5. 総合型地域スポーツクラブ育成事業費

82 万円

スポーツ振興課

「スポーツクラブ YOU GO!」は、会員が自主的に運営する総合型地域スポーツクラブです。それぞれの体力や年齢、技術、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ活動に親しむことができるようなクラブに育つよう、運営費の一部を補助します。

6. 美術作品等収集事業費

1,000 万円

小杉放菴記念日光美術館

美術館における調査研究のための資料として、さらには展覧会の開催など、芸術鑑賞の機会を提供するため、美術作品などの収集を行います。

7. ホッケー普及事業費

186 万円

スポーツ振興課

市が誇るスポーツ競技の一つであるフィールドホッケーの普及を図るため、女子ホッケー日本リーグなどの大会開催費や全国大会への参加費用の一部を補助します。

8. スケート普及事業費

1,816 万円

スポーツ振興課

スケート人口の拡大・普及のため、スケート施設の利用に伴う負担金やスポーツ拠点づくり「全日本女子中高生アイスホッケー大会」の開催費、アイスホッケーの全国大会への参加費用の一部を補助します。

9. スポーツ少年団育成費

712 万円

スポーツ振興課

スポーツ少年団は、地域における活動やスポーツを通じて、

青少年の健全育成を目的に活動しています。各種大会の開催費や団本部・単位団の運営活動費、全国・関東大会などの参加費用の一部を補助します。

◆歴史的・文化的遺産の継承保存・活用

1. 文化財保存整備費

285 万円

生涯学習課ほか

郷土の貴重な財産である指定文化財や伝統芸能の保護や保存、伝承を行います。

2. 世界遺産登録準備事業費

116 万円

生涯学習課

足尾銅山の産業遺産を世界遺産に登録するための準備として、調査、検証を行います。

◆国際交流の推進

1. 国際交流推進事業費

970 万円

生涯学習課

海外友好都市への相互派遣などにより、人材育成や国際交流の底辺拡大を図ります。また、多様な活動を通じて異文化理解や在住外国人の支援の窓口となっている市国際交流協会の運営をサポートします。

2. 外国語指導助手招致事業費

2,804 万円

学校教育課

ネイティブスピーカーによる英語教育を行うことで、生きた英語を学ぶとともに、国際感覚を養い、国際交流に役立てるための事業です。外国語指導助手(ALT)6名を招致します。

3. 国際理解促進事業費

551 万円

生涯学習課

市は多文化共生社会、つまり地域の人と外国人とがともに理解し合って暮らしていける社会を目指しています。外国人講師登録制度を充実させて、日本語が堪能な国際交流員を招き、子どもから大人まで一人一人が参加できる事業を展開します。

4. 外国人来訪者通訳案内事業費

175 万円

観光商工課(日光総合支所)

東武日光駅構内や日光郷土センター内の観光案内所では、2つのボランティアグループの協力を得ながら、外国人観光客の対応にあたります。



国際交流推進事業

日光市を訪れ、今市高校の生徒たちと書道を楽しむラピッド市(アメリカ合衆国)の中高生たち。



外国人来訪者通訳案内事業

日本でも有数の観光都市である日光には毎年、多くの外国人観光客が訪れています。